

# オリザ油化の機能性表示食品素材

素材名	関与成分名	作用機序	表示しようとする機能性	推奨摂取量	自社ヒトモニター試験		届出状況
					モニター数	試験期間	
1 オリザセラミド®	米由来グルコシルセラミド	皮膚表皮において①セラミドの再構築作用、②コーニファイトエンペロープの形成促進作用、③タイトジャンクションの機能強化作用	本品には米由来グルコシルセラミドが含まれます。米由来グルコシルセラミドには肌の水分を逃にくくし、肌の潤いを守るのを助ける機能があることが報告されています。	グルコシルセラミド 1.8mg/日 (オリザセラミド-P: 60mg/日) (オリザセラミド-L: 600mg/日)	CRO試験 プラセボ群: 17名 ケルセラ 1.2mg群: 16名	6W	受理済
2 生コーヒー豆エキス	コーヒー生豆エキス由来クロロゲン酸類	CPT(カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ)活性促進作用(特許取得)	本品にはコーヒー生豆由来クロロゲン酸類が含まれます。コーヒー生豆由来クロロゲン酸類には肥満度を表す体格指数(BMI)が高めの方のBMIを軽減することが報告されています。	クロロゲン酸類 180mg/日 (生コーヒー豆エキス-P: 450mg/日)	CRO試験 プラセボ群: 12名 P 200mg群: 12名	8W	受理済
3 オリザギャバ®	GABA(γ-アミノ酪酸)	交感神経活動が抑制され、副交感神経活動が優位になることによって緊張状態を緩和し、ストレス軽減およびリラククス作用をもたらす。	本品にはGABAが含まれています。デスクワークに伴う短時間の精神ストレスの軽減およびリラククス作用があることが報告されています。	GABA 28~100mg/日 (オリザギャバエキス-HC90: 31~111mg/日) (オリザギャバエキス-F95R: 30~106mg/日)	CRO試験 更年期障害対象 GABA 26.4mg群: 20名 クロスオーバー試験	8W	受理済
4 オリザギャバ®	GABA(γ-アミノ酪酸)	末梢神経節においてGABA(B)受容体を活性化し、ノルアドレナリンの放出を抑制することで交感神経系を抑制状態にし血圧を下げる。	本品にはGABAが含まれています。血圧が高めの方の血圧を下げる作用があることが報告されています。	GABA 12.3mg/日 (オリザギャバエキス-HC90: 13.7mg/日) (オリザギャバエキス-F95R: 12.9mg/日)	CRO試験 GABA 26.4mg群: 6名 クロスオーバー試験	8W	受理済
5 オリザギャバ®	GABA(γ-アミノ酪酸)	交感神経活動が抑制され、副交感神経活動が優位になることによって睡眠の質が改善する。	本品にはGABAが含まれています。睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)の向上に役立つ機能があることが報告されています。	GABA 100mg/日 (オリザギャバエキス-HC90: 111mg/日) (オリザギャバエキス-F95R: 106mg/日)			SR済
6 オリザギャバ®	GABA(γ-アミノ酪酸)	精神ストレス軽減や睡眠の質改善による肌状態の改善や、皮膚中のコラーゲンおよびエラスチン産生促進により肌弾力を維持する。	本品にはGABAが含まれています。肌の弾力性の低下を抑え、肌の健康に役立つ機能があることが報告されています。	GABA 100mg/日 (オリザギャバエキス-HC90: 111mg/日) (オリザギャバエキス-F95R: 106mg/日)			SR済
7 オリザギャバ®	GABA(γ-アミノ酪酸)	GABAの摂取による記憶力の向上作用は、GABA摂取によって増加した成長ホルモンが脳内タンパク合成促進やIGF-1の産生抑制を引き起こすこと。	本品にはGABAが含まれています。GABAには加齢に伴って低下する認知機能の一部である記憶力の向上に役立つ機能があることが報告されています。 記憶力: 見たり聞いたりした情報を思い出す力。	GABA 100mg/日 (オリザギャバエキス-HC90: 111mg/日) (オリザギャバエキス-F95R: 106mg/日)			SR済
8 黒ショウガエキス	黒ショウガ由来5,7-ジメチキシフラボン、5-ヒドロキシ-7-メチキシフラボン	筋肉細胞におけるエネルギー産生促進作用(特許取得)	本品には、黒ショウガ由来5,7-ジメチキシフラボンおよび黒ショウガ由来5-ヒドロキシ-7-メチキシフラボンが含まれます。健康で自立した日常生活を送る上で必要な持久力、立ち上がる力、歩行時のバランス力、ものを握る力を保つ機能があることが報告されています。	5,7-ジメチキシフラボン: 2.5mg/日 5-ヒドロキシ-7-メチキシフラボン: 0.5mg/日 (黒ショウガエキス-P: 100mg/日)	プラセボ群: 12名 P 100mg群: 12名	4W	受理済
9 月見草エキス	メマツヨイグサ種子由来没食子酸類	α-グルコシダーゼ阻害作用 α-アマラーゼ阻害作用(特許取得)	本品にはメマツヨイグサ種子由来没食子酸類が含まれています。糖の吸収を抑制し食後血糖値の上昇を抑える機能が報告されています。	没食子酸類 11.6mg/日 (月見草エキス-P: 350mg/日)	P 200mg群: 18名 摂取前後試験 CRO試験 プラセボ群: 21名 P 300mg群: 23名	単回投与 12W	SR済
10 ルテイン	ルテインエステル	黄斑部に分布青色光を遮断する作用 抗酸化作用による黄斑の保護作用	本品にはルテインエステル(ルテインとして)が含まれています。日常生活で受ける光の刺激から目を保護する機能があります。長時間のコンピューター作業によって低下した目のコントラスト感度(ぼやけの解消によってはっきりとみる力を改善する機能があると報告されています。	(ルテインエステル 40mg/日) ルテイン-P80: 50mg/日			受理済
11 菊の花エキス	(菊の花由来)ルテオリン	キサンチンオキシダーゼ抑制(特許出願中)	本品には、(菊の花由来)ルテオリンが含まれます。(菊の花由来)ルテオリンには尿酸値が高め(5.5mg/dL超~7.0mg/dL未満)な方(男性)の尿酸値を下げる機能が報告されています。	ルテオリン 10mg/日 (菊の花エキス-P: 100mg/日)	プラセボ群: 15名 P 100mg群: 15名 クロスオーバー試験	4W	受理済
12 シーベリーエキス	シーベリー由来ウルソール酸	過活動膀胱抑制作用(特許出願中)	本品には、シーベリー果実由来ウルソール酸が含まれます。シーベリー果実由来ウルソール酸には中高年の健康な男女のトイレに行くわずらわしい気持ちをやわらげる機能が報告されています。	ウルソール酸 0.36mg/日 (シーベリーエキス-P: 400mg/日)	P 200mg群: 10名 摂取前後 CRO試験 プラセボ群: 16名 p 200mg群: 16名 p 400mg群: 16名	4W 4W 8W	届出中
13 MaquiBright® (マキベリーエキス)	デルフィニジン-3,5-ジグルコシド	活性酸素低減作用 涙液産生促進作用(特許取得)	本品にはデルフィニジン 3,5-ジグルコシドが含まれます。デルフィニジン 3,5-ジグルコシドには、スマートフォンやパソコン、TVゲームなどのVDT作業を日常的に行う健康な人の低下しがちな目の潤いをサポートし、VDT作業による一時的な目の疲労感や一時的な目の不快感を軽減する効果が報告されています。 (最終製品を用いたヒト試験)本品にはデルフィニジン-3,5-ジグルコシドが含まれるので、長時間パソコンやスマートフォン等の画面を見ることによる目の疲労感や肩の負担を軽減する機能、目のうるおいを維持する機能と目の一時的な不快感を軽減する機能があります。	デルフィニジン-3,5-ジグルコシド 4mg/日 (マキベリーエキス-P35: 50mg/日)	P35 30mg群: 7名 P35 60mg群: 6名 摂取前後試験 CRO試験 プラセボ群: 34名 P35 60mg群: 33名 P35 120mg群: 35名 CRO試験 プラセボ群: 35名 P35 60mg群: 35名	8W 8W 4W	受理済 受理済

\* 本資料の無断複製及び流用は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。  
\* 本資料に記載された内容は、都合により変更させていただくことがあります。



# オリザ油化の機能性表示食品素材

素材名	関与成分名	作用機序	表示しようとする機能性	推奨摂取量	自社ヒトモニター試験		届出状況
					モニター数	試験期間	
14 パッションフラワーエキス	パッションフラワー由来 総フラボノイド	時計遺伝子発現量増加作用 (特許出願中)	本品にはパッションフラワー由来フラボノイドが含まれています。生活リズムが乱れがちな者もしくは仕事や家事に従事する際に、身が入らない、やる気が出ない健康者のやる気(活力)を向上し精神的健康を改善することが報告されています。	総フラボノイド 6mg/日 (パッションフラワーエキス-P: 200mg)	CRO試験 プラセボ群: 22名 P 200mg群: 22名	12W	SR準備中
15 オリザトコリエノール <sup>®</sup>	トコリエノール	抗酸化作用、HMG-CoA還元酵素阻害作用	総コレステロールや悪玉(LDL)コレステロールを下げる機能があります。	トコリエノール 25~60mg/日 (オリザトコリエノール-90: 42~100mg/日)	検討中		
16 フコキサンチン	フコキサンチン	白色脂肪組織中のUCP1発現による脂肪分解作用	お腹の脂肪(内臓脂肪)、体脂肪を減らす機能があります。	フコキサンチン: 3mg/日 (フコキサンチン-5KW: 60mg/日)	CRO試験 プラセボ群: 9名 フコキサンチン 1mg群: 9名 フコキサンチン 3mg群: 9名	4W	臨床論文掲載済み
17 紫茶エキス	紫茶由来ポリフェノール	脂肪吸収抑制作用 脂肪蓄積抑制作用 脂肪代謝促進作用 膵リパーゼ阻害作用 (特許出願中)	お腹の脂肪(内臓脂肪)、体脂肪を減らす機能があります。	ポリフェノール 30mg/日 (紫茶エキス-P: 100mg/日)	P 100mg群: 18名 摂取前後試験	4W	CRO試験準備中
18 桜の花エキス	カフェオイルグルコース及びケルセチングルコシド	AGEs産生抑制による抗糖化作用 (特許取得)	肌の老化を緩和する機能があります。	カフェオイルグルコース 1~3mg、ケルセチングルコシド 0.025~0.075mg (桜の花エキス-P: 50~150mg/日)	CRO試験 プラセボ群: 10名 P 150mg群: 10名	8W	臨床論文掲載済み
19 シノの実エキス	シノ由来ポリフェノール	5-リポキシゲナーゼ阻害作用 ヒスタミン遊離抑制作用 (特許取得)	目や鼻の不快感を緩和する機能があります。	ポリフェノール 3~4.5mg/日 (シノの実エキス-P: 100~150mg/日)	P 100mg群: 10名 P 150mg群: 10名	4W	CRO試験準備中
20 月見草エキス	メマツヨイグサ由来 ポリフェノール	ピロリ菌発育阻止作用 ピロリ菌付着抑制作用 ピロリ菌定着抑制作用 ピロリ菌除菌作用 ウレアーゼ阻害作用 (特許取得)	胃の健康を維持する機能があります。	ポリフェノール 16.2~21.6mg/日 (月見草エキス-PH: 90~120mg/日)	PH 120mg群: 5名 摂取前後試験	8W	
21 フキエキス	フキ由来ポリフェノール	脱顆粒抑制 ロイコトリエン遊離抑制作用 TNF- $\alpha$ 産生抑制作用 (特許取得)	目や鼻の不快感を緩和する機能があります。	ポリフェノール 2.5mg/日 (フキエキス-P: 250mg/日)	P 250mg群: 10名 摂取前後試験	8W	
22 赤ショウガエキス	[6]-ジンゲロールおよび[6]-ショウガオール	抗炎症作用(プロスタグランジン、NO産生抑制、マクロファージ遊走阻害)(特許取得)	関節の痛みをやわらげます。	[6]-gingerol および [6]-shogaol 1.2mg/日 (赤ショウガエキス-P: 20 mg/日)	P 50 mg群: 9名 摂取前後試験 (上記実施時有効成分量は現状の1/2.5)	4W	CRO試験準備中
23 アグアヘエキス	DMM(ジヒドロキシ-メトキシ-メチルフラボン)	DMM(ジヒドロキシ-メトキシ-メチルフラボン)によるエストロゲン様作用	月経時に伴う不快症状を軽減する作用が報告されています。	DMM(ジヒドロキシ-メトキシ-メチルフラボン) 20 $\mu$ g/日 (アグアヘエキス 100mg/日)	CRO試験 プラセボ群: 22名 アグアヘエキス: 100mg群: 22名	8W	臨床論文準備中
24 トマト種子エキス	総リコペロサイド	皮膚の細胞外マトリックスにおけるコラーゲンおよびエラスチンの増加作用およびコラーゲン、エラスチンの分解物の取り込み促進作用	肌のコラーゲン量を維持し、肌の弾力性の低下を抑え、肌の健康に役立つ機能があります。	総リコペロサイド: 1mg/日 (トマト種子エキス-P: 200mg/日)	オープン試験 P 200mg群: 18名 摂取前後試験	4W	臨床試験準備中
25 イサダオイル	8-HEPE	PPAR $\alpha$ 活性化作用及び抗肥満に関連する(Cyp4a1、Fabp1、Cpt1a)遺伝子発現量増加作用	肥満気味な方の内臓脂肪を減らすのを助ける機能があることが報告されています。	8-HEPE: 0.21mg/日 (イサダオイル: 210mg/日)	プラセボ群: 8名 イサダオイル210mg群: 6名	4W	
26 イチゴ種子エキス	イチゴ種子由来ポリフェノール及びチロロサイド	セラミド合成酵素(Sptlc1)発現量促進及びアクアポリン遺伝子(AQP3及びAQP5)の発現量促進	肌の水分を逃しにくくし、肌の潤いを守るのを助ける機能があります。	イチゴ種子由来ポリフェノール: 0.8mg チロロサイド: 0.2mg (イチゴ種子エキス-P: 40mg/日)	P 40 mg群: 8名 摂取前後試験	2W	臨床試験準備中

\* 本資料の無断複写及び流用は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。  
\* 本資料に記載された内容は、都合により変更させていただくことがあります。



© 2019 ORYZA OIL & FAT CHEMICAL CO., LTD.

〒493-8001 愛知県一宮市北方町沼田1  
TEL(0586) 86-5141 ・ FAX(0586) 86-6191 ・ Home Page: <http://www.oryza.co.jp/> ・ E-mail: [info@oryza.co.jp](mailto:info@oryza.co.jp)

改定日: 令和2年10月5日  
前回改定日: 令和2年8月31日